



使徒継承

アンティオキアにおける聖ペテロから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



1. 聖ペテロ、使徒、殉教者^{CO}

紀元30年頃キリストに召された。アンティオキアの初代主教
聖書に名が記されている：「汝はペテロなり、我この磐の上に我が教會を建てん」(マタイ伝福音書16:18)。アンティオキアにて(ガラテヤ人への書2:11)

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒ペテロから今日にまで及び、
2026年現在で1,996年にわたる。

聖ペテロからアンティオキア総主教 Cyril VIII に至る継承は、アンティオキア教会が保持するアンティオキア総主教の名簿に、また1724年以降はメルキト・ギリシヤ・カトリック教会が保持する名簿に従っている。これらは、それらの教会が自らの使徒継承をアンティオキア初代主教聖ペテロにまでたどると同じ名簿である。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

O 正教会により聖人として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

アンティオキア

「弟子たちのキリステアンと稱へらるる事はアンテオケより始れり」(使徒行伝11:26) とあるアンティオキアの主教座。聖ペテロがローマに赴く前に創設した。聖ペテロの後を継いだ聖エウオディオスからCyril Vに至るアンティオキアの主教および総主教たち。アンティオキアの教会が保持する名簿による。

2. 聖エウオディオス ^{CO}	53
3. 聖イグナティオス ^{CO} 殉教者	68
4. Heron I	100
5. Cornelius	127
6. Heron II	151
7. 聖 Theophilus ^{CO}	169
8. Maximus I	188
9. 聖 Serapion ^{CO}	191
10. 聖 Asclepiades ^{CO}	212

11. Philetus	218
12. Zebinus	232
13. 聖 Babylas ^{CO} 殉教者	240
14. Fabius	253
15. Demetrian	256
16. Amphilochius	263
17. サモサタの Paul	267
18. Domnus I	270
19. Timaeus	273
20. Cyril	277
21. Tyrannion	299
22. Vitalius	308
23. 聖 Philogonius ^{CO}	314
24. Paulinus	324
25. 聖 Eustathius ^{CO}	325

26. Eulalius	332
27. Euphronius	333
28. Flacillus	334
29. Stephen I	341
30. Leontius	345
31. Eudoxius	350
32. 聖 Meletius ^{CO}	354
33. Anianus	357
34. Euzoius	360
35. Dorotheus	370
36. Paulinus II	371
37. Vitalius II	376
38. 聖 Flavian I ^{CO}	384
39. Porphyrius	404
40. Alexander	408
41. Theodotus	418
42. John I	427
43. Domnus II	443
44. Maximus II	450
45. Basil	459
46. Acacius	459
47. Martyrius	461
48. 縮絨工 Peter	465
49. Julian	466
50. John II	475
51. Stephen II	490
52. Stephen III	493
53. Calandion	495

54. John Codonatus	495
55. Palladius	497
56. Flavian II	505
57. Severus	513
58. Paul II	518
59. Euphrasius	521
60. 聖 Ephraim ^O	526
61. Domnus III	546
62. シナイの聖 Anastasius I ^{CO}	561
63. 聖 Gregory ^{CO}	571
64. 聖 Anastasius II ^{CO} 殉教者	599
65. Gregory II	610
66. Anastasius III	620
67. Macedonius	628
68. George I	640
69. Macarius	656
70. Theophanes	681
71. Sebastian	687
72. George II	690
73. Alexander II	695
74. Stephen IV	742
75. Theophylact	748
76. Theodore	767
77. John IV	797
78. Job	810
79. Nicholas	826
80. Simeon	834
81. Elias	840

82. Theodosius	852	110. Christopher II	1184
83. Nicholas II	860	111. Theodore IV (Balsamon)	1185
84. Michael	879	112. Joachim	1199
85. Zacharias	890	113. Dorotheus	1219
86. George III	902	114. Simeon II	1245
87. Job II	917	115. Euthymius II	1268
88. Eustratius	939	116. Theodosius IV	1269
89. Christopher	960	117. Theodosius V	1276
90. Theodore II	966	118. Arsenius	1285
91. Agapius	977	119. Dionysius	1293
92. John V	995	120. Mark	1308
93. Nicholas III	1000	121. Ignatius II	1342
94. Elias II	1003	122. Pachomius	1386
95. George Lascaris	1010	123. Nilus	1393
96. 有德者 Macarius	1015	124. Michael III	1401
97. Eleutherius	1023	125. Pachomius II	1410
98. Peter III	1028	126. Joachim II	1411
99. John VI	1051	127. Mark III	1426
100. Aemilian	1062	128. Dorotheus II	1436
101. Theodosius II	1075	129. Michael IV	1454
102. Nicephorus	1084	130. Mark IV	1476
103. John VII	1090	131. Joachim III	1476
104. John IX	1155	132. Gregory III	1483
105. Euthymius	1159	133. Dorotheus III	1497
106. Macarius II	1164	134. Michael V	1523
107. Athanasius	1166	135. Dorotheus IV	1541
108. Theodosius III	1180	136. Joachim IV	1543
109. Elias III	1182	137. Michael VI	1577

138. Joachim V	1581
139. Joachim VI	1593
140. Dorotheus V	1604
141. Athanasius III (Dabbas)	1611
142. Ignatius III (Attiyah)	1619
143. Euthymius III	1635
144. Euthymius IV	1636
145. Macarius III (Zaim)	1648
146. Neophytos I	1674
147. Athanasius IV (Dabbas)	1686
148. Cyril V (Zaim)	1694

メルキト総主教庁

1724年以降、ローマ司教と交わりにあるメルキト・ギリシャ・カトリック教会のアンティオキア総主教たち。Cyril VIからCyril VIIIに至る。

149. Cyril VI (Tanas)	1724
150. Athanasius IV (Jawhar)	1759
151. Maximos II (Hakim)	1760
152. Theodosius V (Dahan)	1761
153. Cyril VII (Siaj)	1794

154. Agapius II (Matar)	1796
155. Ignatius IV (Sarrouf)	1812
156. Athanasius V (Matar)	1813
157. Macarius IV (Tawil)	1813
158. Ignatius V (Qattan)	1816
159. Maximos III (Mazloun)	1833
160. Clement (Bahous)	1856
161. Gregory II (Youssef-Sayour)	1864
162. Peter IV (Geraigiry)	1898
163. Cyril VIII (Geha)	1902

バイルートとアメリカ合衆国

1905年に総主教Cyril VIIIによって聖別された、バイルートのメルキト大主教Athanasios Sawaya以降、各主教はその前に挙げられた主教によって聖別された。

164. Athanasios (Sawaya)	1905
165. Anthony Aneed	1911
166. Wallace David de Ortega Maxey	1945
167. Nils Bertil Alexander Persson	1986
168. Samuel Guido, Jr.	2004

169.

Garland F. Byers, Jr.

2013



聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマーントンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、[主教についてのページ](#)に掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。

使徒ペテロ、モスクワ・クレムリンの生神女福音大聖堂のデイス層のイコン、1399年頃、ギリシャ人フェオフィアン（Theophanes the Greek）の作とされる。[Wikimedia Commons](#)経由、パブリックドメイン。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。